

# 平成27年1月期 決算発表ご説明資料

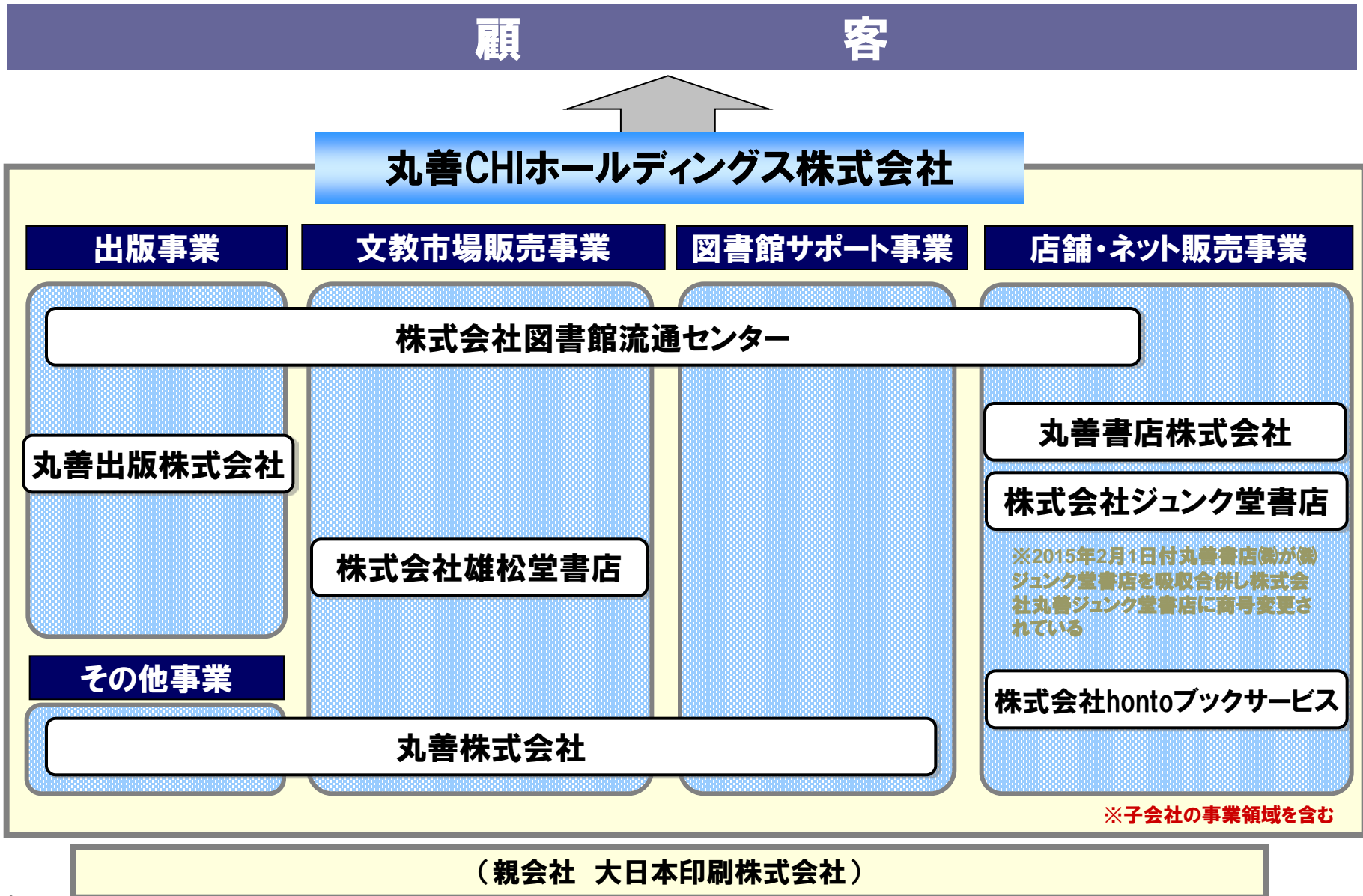
(当社第5期 平成26年2月1日～平成27年1月31日)



丸善CHIホールディングス株式会社

平成27年3月13日

# 1. 当社の体制図



## 2. 当期・平成27年1月期 業績サマリー(連結)

- 売上では、消費税増税の影響が店舗・ネット販売事業や一部文教市場販売事業で見られたものの、その他の文教市場販売事業、図書館サポート事業、その他事業で堅調に推移したことから、期初予想を約18億円(1.1%)上回った。
- 上記増収要因のほか、大学向け事業を中心に原価改善、コスト削減効果が想定を上回り、営業利益は約5.2億円、経常利益は5.5億円、それぞれ期初予想を上回った。

◆平成26年2月1日～平成27年1月31日

(単位:百万円)

【平成27年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
業績予想値 (平成26年3月14日発表)	167,000	1,500	1,350	480
実績(本日発表)	168,812	2,024	1,897	845
対業績予想 増減	+1,812	+524	+547	+365
対業績予想 比率	101.1%	134.9%	140.5%	176.0%

## 2. 当期・平成27年1月期 業績サマリー・前年比

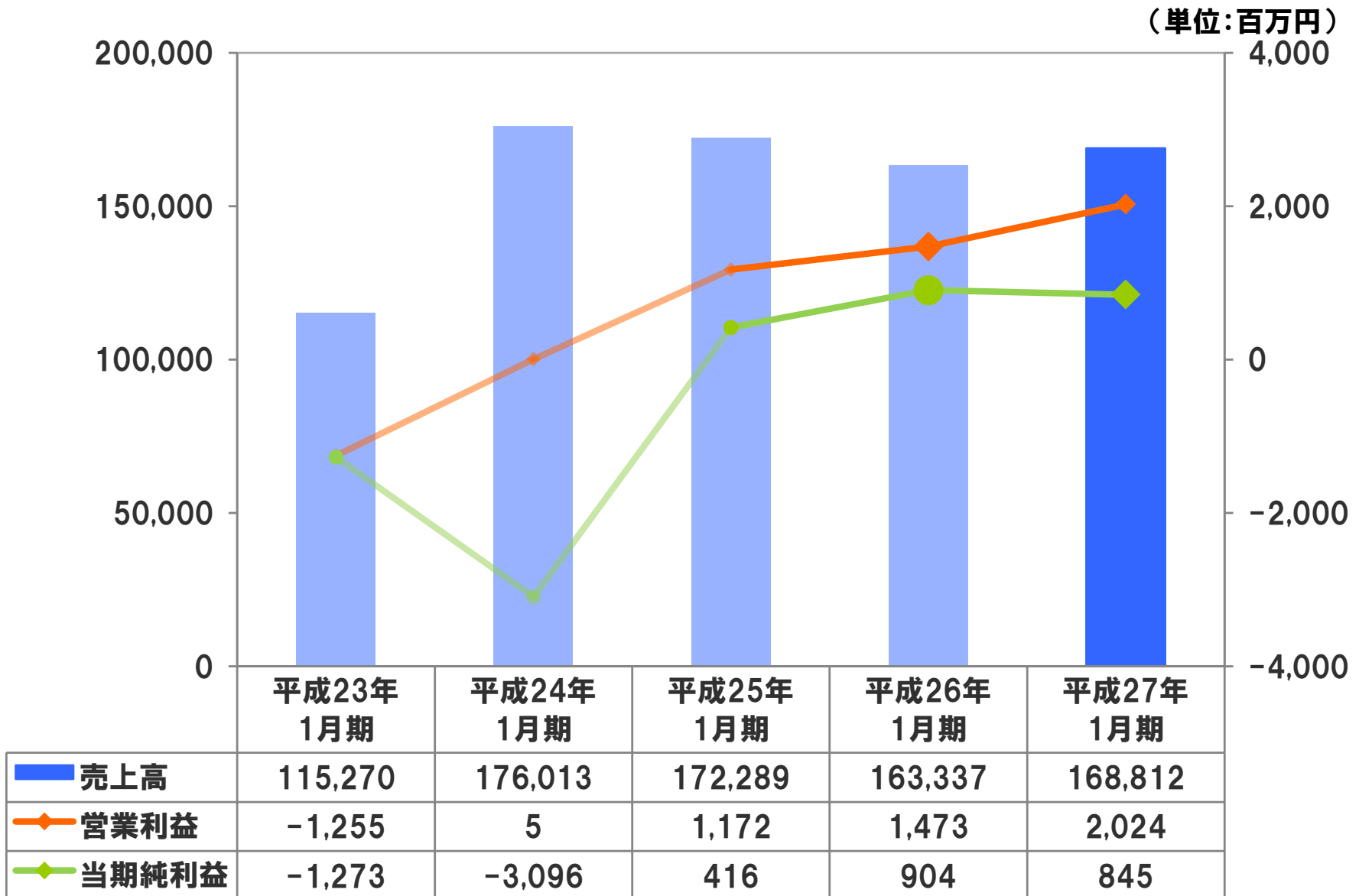
- 前年比では、売上は、店舗・ネット販売事業で、新たに(株)淳久堂書店を、その他事業において、(株)明日香(総合保育サービス)をそれぞれ連結対象としたことなどにより、前年比で約55億円(3.4%)上回った。
- 営業利益では、上記増収要因および原価改善等の効果で、前年比約5.5億円(+37.3%)の増益となった。また経常利益は約3.8億円増(+25.4%)となった
- 当期純利益では、前年に特別利益の計上があったこと等により、前年比約0.6億円(△6.6%)の減益となった。

◆平成26年2月1日～平成27年1月31日 前年同期比

(単位:百万円)

【平成27年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前年同期実績 (平成26年1月期)	163,337	1,473	1,513	904
当期実績 (平成27年1月期)	168,812	2,024	1,897	845
対前年同期 増減	+5,474	+550	+384	△59
対前年同期 比率	103.4%	137.3%	125.4%	93.4%

## 2. 業績サマリー 推移表(連結)



### 3. 当期・平成27年1月期のセグメント損益(連結)

◆平成26年2月1日～平成27年1月31日

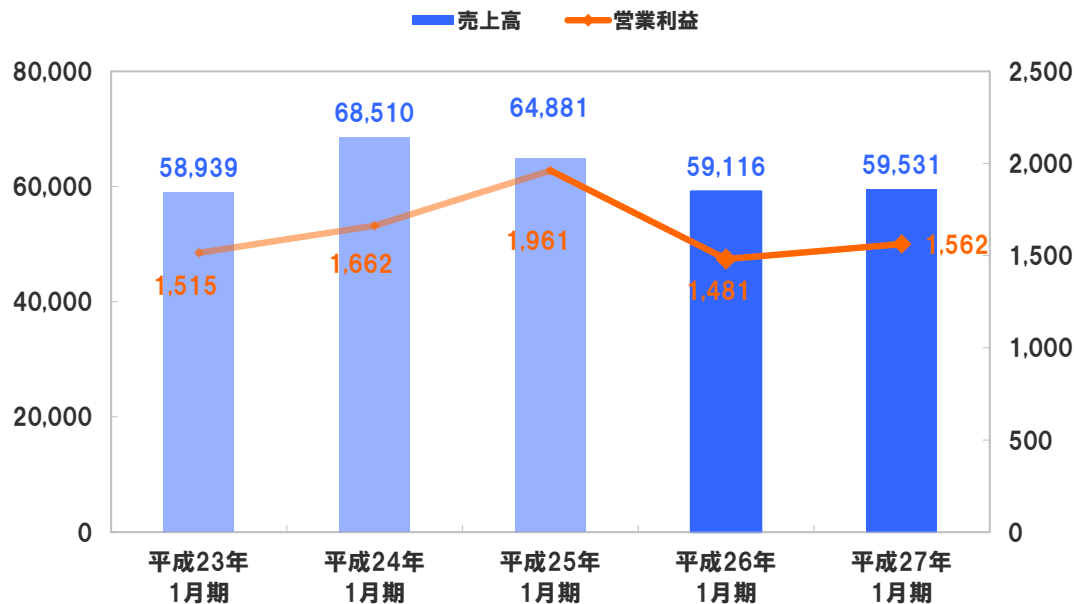
(単位:百万円)

連結	売上高			営業利益		
	当期	前期	対前比	当期	前期	対前比
文教市場販売事業	59,531	59,116	100.7%	1,562	1,481	105.4%
店舗・ネット販売事業	73,993	73,159	101.1%	△64	85	---
図書館サポート事業	19,269	17,239	111.8%	2,000	1,511	132.3%
出版事業	4,714	4,721	99.8%	362	395	91.7%
その他事業	11,304	9,100	124.2%	378	417	90.5%
消去又は全社	---	---	---	△2,215	△2,418	---
合計	168,812	163,337	103.4%	2,024	1,473	137.3%

## 4. 主要事業 ① 文教市場販売事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成27年 1月期	59,531	1,562
対前比	415 (100.7%)	80 (105.4%)

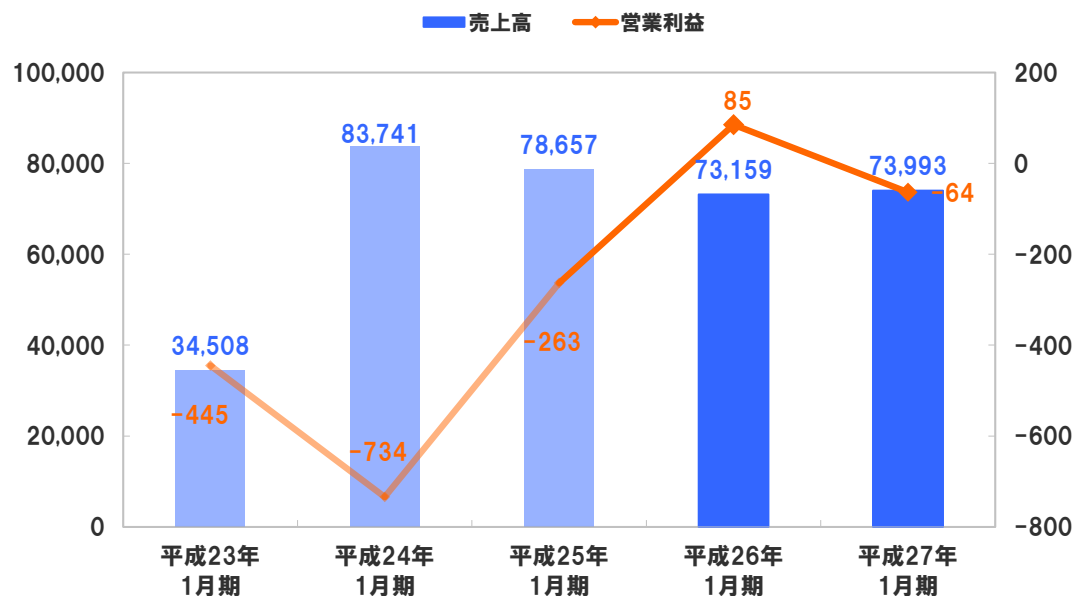


- 公共図書館および大学図書館向けの書籍販売で、一部消費税増税の影響が見られたが、教育・研究施設・図書館などの設計・施工案件の増加、及び学術研究用外国雑誌の販売が堅調に推移した結果、売上高は前年比+415百万円の微増収となった。
- 大学向け事業において原価改善、コスト改善に努めたことにより、営業利益は前年比+80百万円の増益となった。

## 4. 主要事業 ②店舗・ネット販売事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成27年 1月期	73,993	△64
対前比	833 (101.1%)	△149 (---)



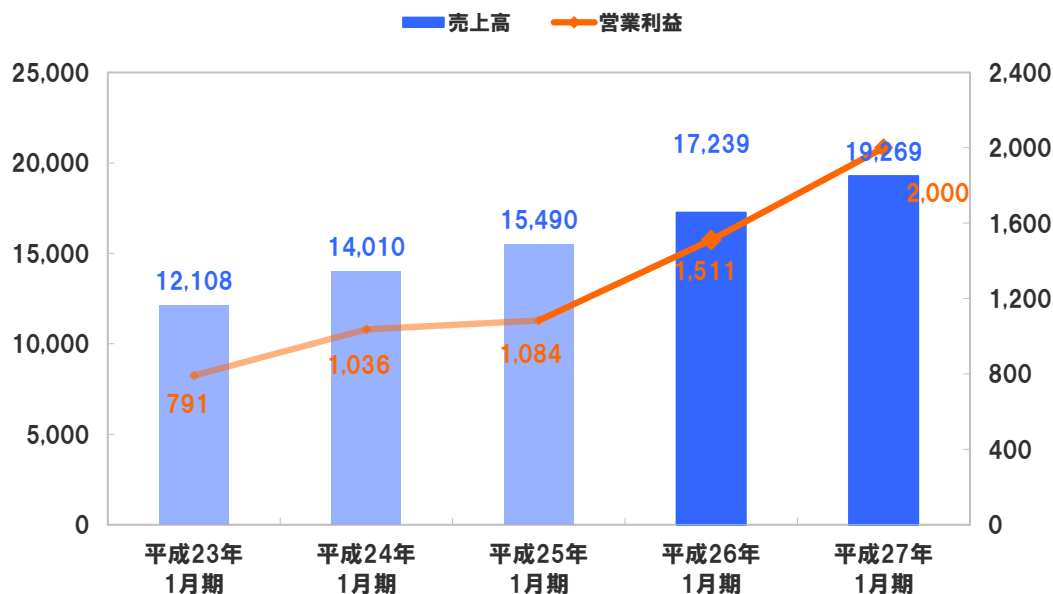
- 消費税増税の影響や天候不順の影響から既存店売上が厳しく推移した。一方で(株)淳久堂書店を連結の範囲に含めたことから、売上高は前年比+833百万円の増収となった。
- 営業利益は、上記要因による既存店減収が影響し、前年比△149百万円の減益となった。
- 平成27年1月末時点における店舗数は「MARUZEN」「ジュンク堂書店」以外の店舗名を含め、98店舗となっている。



## 4. 主要事業 ③ 図書館サポート事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成27年 1月期	19,269	2,000
対前比	2,029 (111.8%)	488 (132.3%)

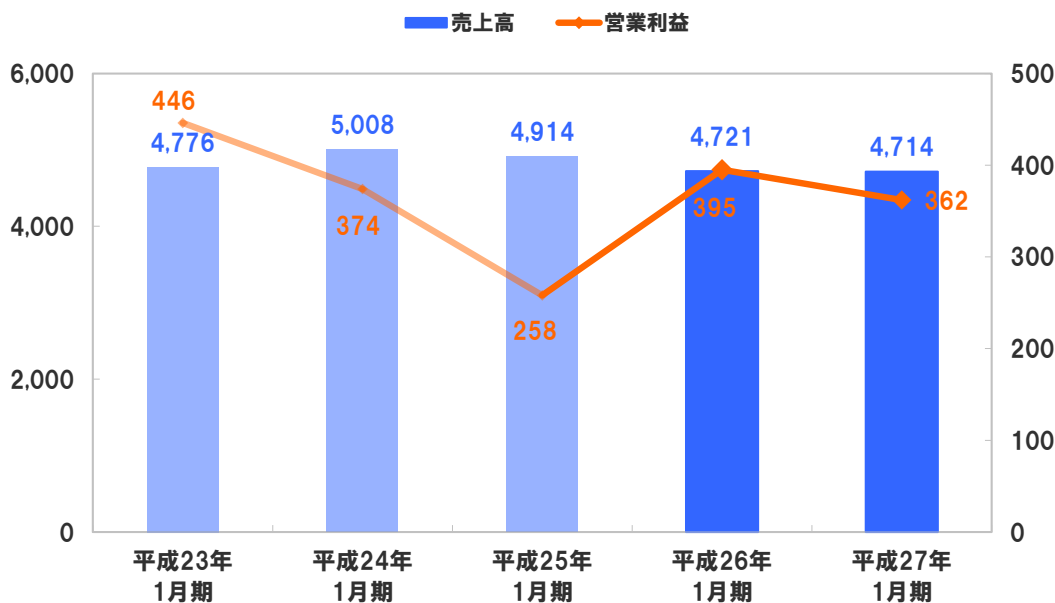


- 図書館受託館数は小規模案件の期間満了により減少したが、比較的規模の大きな図書館の新規受託もあり、売上高は順調に推移し前年比+2,029百万円となった。
- 大学図書館・公共図書館等合計で受託館数は期初887館から9館減少し、期末受託館数は合計878館となった。

## 4. 主要事業 ④出版事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成27年 1月期	4,714	362
対前比	△7 (99.8%)	△32 (91.7%)

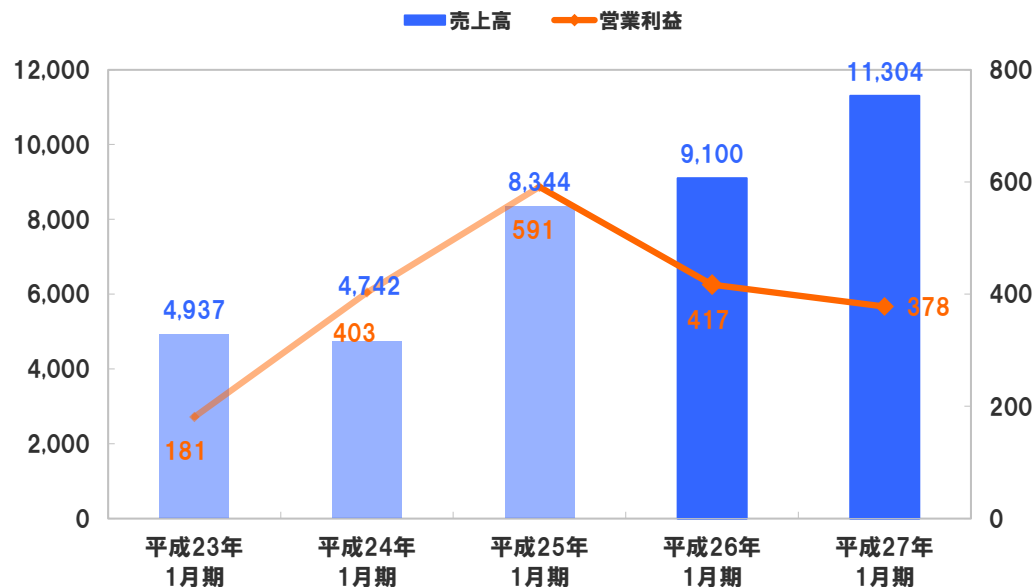


- 売上はほぼ前年なみに推移し、前年比△7百万円の微減(当期新刊311点)であった。
- 営業利益は、児童書分野(岩崎書店)は順調に推移したが、専門書分野(丸善出版)で、比較的利益率の高い既刊書の売上が鈍く、全体で前年比△32百万円の減益となった。

## 4. 主要事業 ⑤その他事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成27年 1月期	11,304	378
対前比	2,204 (124.2%)	△39 (90.5%)



- PC・スマートフォン等の修理サービス業務(グローバルソリューションサービス(株))が順調に推移した結果、また総合保育サービスの(株)明日香を連結範囲に含めた影響により売上高は前年比+2,204百万円の増収となった。
- しかしながら、店舗内装関連事業において、主要顧客の投資意欲減退の影響により新規出店案件が大幅に減少する厳しい状況により、営業利益は前年比△39百万円の減益となった。

## 5. 来期・平成28年1月期(当社第6期)業績予想

- 平成28年1月期においては、引き続き店舗・ネット販売事業において、スクラップ&ビルド、および書店物流網の稼働によるサービス向上により、収益性の向上を図ります。
- また、文教市場販売事業においては、大学向け事業の業務効率の改善、大学、公共図書館等における顧客ニーズの変化に対応した新規事業の推進に取り組んでまいります。
- しかしながら、書籍雑誌販売額の継続的な減少など、依然として市場環境は厳しく推移すると予想されるため、平成28年1月期の業績予想については、下記の通り、売上・利益ともに前年比微増を見込んでおります。

(単位:百万円)

【平成28年1月期予想】	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期業績予想	88,000	1,720	1,650	1,100
<u>通期業績予想</u>	<u>170,000</u>	<u>2,030</u>	<u>1,900</u>	<u>850</u>
<b>当期実績(通期)との比較</b>	1,188	6	3	5
[平成27年1月期通期実績]	168,812	2,024	1,897	845

# ご参考資料

# 当期のトピックス

- 4月 (株)図書館流通センターがカルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)を共同事業体として神奈川県海老名市立中央図書館・海老名市立有馬図書館の指定管理者として運営を開始。
- 6月 丸善(株)、京セラ丸善システムインテグレーション(株)が大学図書館向け電子図書館サービスの提供を開始。
- 7月 (株)図書館流通センターが総合保育サービス企業の(株)明日香の株式譲渡を受け、保育サービスに参入。
- 7月 ハイブリッド書店サービス「honto」でグループ内のhontoポイントサービス実施店舗が100店舗を突破。
- 9月 丸善(株)、京セラ丸善システムインテグレーション(株)が人文系主要出版社6社と 学術・研究機関を対象に学術書の新刊を冊子体と電子書籍のセットにて販売する「新刊ハイブリッドモデル」のサービスを開始。
- 10月 (株)雄松堂書店が、ペリー来航時に日本政府へ寄贈されていたジョン・ジェームズ・オーデュボン著『THE BIRDS OF AMERICA』を、大日本印刷(株)によって復元し発売開始。
- 12月 ハイブリッド書店サービス「honto」がグループのリアル書店内在庫状況検索等の機能を持つスマートフォン向けアプリ「honto with」の配信を開始。
- 2月 丸善書店(株)と(株)ジュンク堂書店が合併し、(株)丸善ジュンク堂書店へ商号を変更。

## ★ハイブリッド型総合書店「honto」サービス 連携書店の拡大

丸善ジュンク堂書店で計68店舗に拡大。サービス連携の対象店舗は順次拡大予定。  
(平成27年2月末日現在。文教堂含むhonto提携店舗全体では150店舗)

# 新規出店・リニューアル店舗

	店名	面積	ブランド	備考
2月	那覇店*	2,003坪	JUNKUDO	文具売場230坪を新規併設 ※文具のブランドはMARUZEN
9月	丸善丸の内本店*	1,599坪	MARUZEN	洋書売場を増床
11月	町田ジョルナ店	139坪	MARUZEN	書籍
	高槻店	381坪	JUNKUDO	書籍
	滋賀草津店	658坪	JUNKUDO	書籍・文具

\*印は、リニューアル店舗

閉店店舗:

<JUNKUDO>

5月:岡山店、8月:仙台ロフト店、10月:仙台北店

<MARUZEN>

3月:関西国際空港ゲート店

※上記の他、<JUNKUDO> 及び <MARUZEN> 以外のブランドの店舗を2店舗閉店しております。

# 「知の生成と流通」の活性化への貢献

- 当社グループは「知は社会の礎である」という共通の価値観のもと、「知の生成と流通に革新をもたらす企業集団となる」というグループビジョンを掲げ、知を求めるすべての人々と、知を提供する出版流通の接点の拡大を目指しております。
- 当社グループでは上記の価値観のもと、業界各社はじめ各団体や官公庁・自治体等と連携して、出版流通の活性化を通じて我が国の知の発展に寄与するべく、様々な活動を行っております。そのうち、代表的な取り組みを以下にご紹介します。

## ➤ 図書館総合展

図書館総合展は、公共・大学・機関・企業・大学・学校等すべての館種の図書館についての、最新技術・サービス・トレンド・学術情報を紹介する、図書館界最大の展示会で、(株)雄松堂書店の関連会社である(株)カルチャー・ジャパンが企画・運営を行っております。2014年11月5日～7日に開催された第16回図書館総合展では、来場者数が史上最高となりました。

当社グループも、丸善(株)、(株)図書館流通センター、(株)雄松堂書店が出展した他、丸善出版(株)、(株)編集工学研究所も参加し、図書館の課題解決のためのご提案や、新しい図書館像のご紹介をいたしました。

<第16回展の様子>



第17回は、  
2015年11月10日～12日  
に展示会開催予定です。









MARUZEN CHI  
Holdings

**本資料には、当社および当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。**

**これらの記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。**

**そのため、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。**